

臨床研究に関する情報公開について

岡山旭東病院では以下の通り、患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。
インフォームド・コンセントを実施しない場合において、「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する指針」に基づき、情報公開いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。ご自身のデータについて、本研究への利用を望まれない場合には、担当責任者にご連絡ください。

西暦 2026 年 2 月 9 日作成
2026 年 8 月 25 日改訂

研究課題名	多職種協働による大腿骨近位部骨折データベース登録の取り組み
研究責任者	事務部 医療情報課 岡田祐介
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2027 年 3 月末
既存試料・情報の収集期間	2022 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
研究対象者	大腿骨近位部骨折データベースへ症例登録を行っている患者
研究の意義と目的	本研究は、大腿骨近位部骨折データベースへの症例登録における登録漏れを防ぐため、多職種が協同して効率的にデータ登録を行う体制を構築し、その有用性を検証することを目的とした。大腿骨近位部骨折は高齢者の予後に大きく影響する疾患であり、質の高いデータベース構築は診療の質向上や研究基盤の強化に不可欠である。そのため、登録作業を特定の職種に依存せず、多職種が連携して担う体制を整備することには重要な意義がある。本研究では、この協同体制が登録漏れ防止にどの程度寄与するかを明らかにすることを目指した。
研究の方法	院内共有フォルダ上に情報集約用データシートを作成し、各部署が役割分担して必要項目（入院時情報・手術情報・退院時情報）をデータ化。30 日・120 日・365 日後の状態については、外来診察予約を行い、診察時に情報を収集し反映した。症例登録件数および各項目の未入力割合を集計し、登録漏れの有無と情報の正確性を検証する。また、情報収集のタイミングや方法が、タイムリーで正確なデータ収集に寄与しているかを検討した。
利用する試料・情報	性別、受傷時の年齢、住居(受傷前)、受傷前の活動性、術前簡易認知テスト結果、手術翌日の立位、術前全身状態ASAgrade、骨折部位、病的骨折の有無、骨折のタイプ、30 日・120 日・365 日後の状態に関する情報などのカルテ情報
個人情報の保護	個人情報は削除し、どのデータが誰のものか分からなくして、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間 岡山旭東病院 医療情報課で保存します。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他紙媒体の情報は施錠可能な保管庫で保管します。
試料・情報の利用の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の提供とも利用を停止することができます。試料・情報の提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。

問い合わせ先	公益財団法人 操風会 岡山旭東病院 研究担当責任者:岡田 祐介 連絡先(電話番号) 086-276-3231(平日:9時~17時)
--------	---